＜京都大学大学院医学研究科 発達障害支援医学講座 特別共同企画＞

**自閉スペクトラム症(ASD)と記憶**

－「記憶」を通じてASDの認知・行動特性と臨床的問題を理解する－

講座№16210

2016年度　発達障害・専門講座10（大阪）

＊本講座は臨床心理士資格更新のための研修ワークショップとして要件が満たされた場合、日本臨床心理士資格認定協会へ申請予定です。承認された場合はホームページに掲載いたします。

**期　　日：２０１７年 ２月１１日（土）・１２日（日）**

**受講対象：教育・医療（心療内科・小児科など精神科近接領域）・心理・産業保健・就労支援・司法・**

**福祉等の機関・現場で精神保健にかかわる方々、研究生・大学院生など興味のある方**

**定　　員：１２０名**（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

**受 講 料：１０,０００円**（税込み）　　※昼食は各自でおとりください

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団　 TEL 03-3986-7021**

**共　　催：京都大学大学院医学研究科　発達障害支援医学講座**

**会　　場：エル・おおさか（大阪府立労働センター）本館６階　大会議室**

大阪市中央区北浜東３-１４ ※詳細地図は受講証に添付いたします。

（京阪･地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300ｍ､京阪･地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500ｍ）

**＊＊＊** 企画 ／／ 十一　 元三　先生 ／／

京都大学大学院医学研究科 教授(人間健康科学系)、神経発達症研究推進機構 **＊＊＊**

内藤 　美加 先生：上越教育大学大学院 教授（認知心理学、文学博士）

義村 さや香 先生：京都大学大学院医学研究科 発達障害支援医学講座（児童精神科医、医学博士）

天野 　玉記 先生：神経発達症研究推進機構 理事（臨床心理士、EMDRセラピスト）

堀田 　千絵 先生：関西福祉科学大学 准教授（心理学博士、臨床発達心理士）

*講師陣ご紹介*

**本講座はこれまで自閉スペクトラム症を主な対象として、年度により臨床的テーマと認知科学・精神生理学的テーマを交互に取り上げてまいりました。その理由は、自閉スペクトラム症をもつ人への支援が的を得たものとなるためには、外面に表われる行動上の特徴を知るだけでなく、そのような特徴を生む認知機能（意識）の特性を理解することが重要と考えられるからです。「記憶」はその鍵となる認知機能と言えますが、「記憶」という現象を正しく理解するには基本概念をまず押さえ、それをもとに臨床現場で生じる問題を記憶の視点から分析する作業が必要となります。**

**今年度は、一昨年に京都大学大学院医学研究科（人間健康科学系）に設置された発達障害支援医学講座との共同による特別企画として、第一線でご活躍中の研究者、臨床家をお招きし、近年、急速に前進している自閉スペクトラム症および認知科学の最新の知見を紹介して頂くとともに、臨床的問題の理解と対応への示唆をお話し頂く機会にしたいと思います。**

**【京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系教授　　十一　　元三】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 時　間 | テ　ー　マ |  講 師（敬称略） |
| ２月１１日(土) | 12:30～12:40 | （事務局事務連絡） |  |
| 12:40～13:40 | 自閉スペクトラム症と認知（総論）：臨床的特徴と認知特性の展望 | 十一　　元三 |
| 13:50～14:50 | 子供の記憶発達と自閉スペクトラム症：未来の見通しができるには | 内藤　　美加 |
| 15:00～16:00 | 記憶の忘却と自閉スペクトラム症：定型発達とどこに相違があるか | 堀田　　千絵 |
| 16:10～17:00 | ＜ 第１日目 ： 質　　疑 ＞ | （第1日目講師） |
| ２月１２日(日) | 10:00～11:00 | 自閉スペクトラム症と問題行動：エピソード記憶の臨床的特徴 | 義村　さや香 |
| 11:00～12:00 | 自閉スペクトラム症とPTSD：トラウマ記憶の治療と脳基盤 | 天野　　玉記 |
| 13:10～13:40 | 講義のまとめ：第１・２日を通じてみえてきたこと | 十一　　元三 |
| 14:00～15:00 | ＜ 第２日目 ： 質疑と総合討議 ＞ | 内藤・義村・天野・十一 |

【*プログラム*】

※ 時間割・テーマ等については、多少異なる場合があることをお含みください。